

- 平成28年度における届出受理件数は319件(対前年度比8.1%増)。
- 319件のうち、第1次審査で終了した件数は308件(第1次審査終了前に取下げがあった8件を除いた311件に占める割合は約99%)、第2次審査に移行した件数は3件(同約1%)。
- 第2次審査で終了した件数は3件(2件は平成27年度中に第2次審査に移行したもの)、このうち、問題解消措置を前提として独占禁止法上の問題はないと判断した件数は3件。

〔表1〕過去3年度に受理した届出の処理状況

	H26年度	H27年度	H28年度
第1次審査で終了したもの	275	281	308
うち禁止期間の短縮を行ったもの	(119)	(145)	(171)
第1次審査終了前に取下げがあったもの	11	8	8
第2次審査に移行したもの	3	6	3
合計	289	295	319

(注) 当該年度に受理した届出の内数であり、合計は当該年度の届出件数となる。

〔表2〕過去3年度における第2次審査の処理状況

	H26年度	H27年度	H28年度
第2次審査で終了した件数	2	4	3
問題解消措置を前提に問題なしとした件数	2	1	3
排除措置命令を行った件数	0	0	0

(注) 当該年度に届出受理したか否かにかかわらず、当該年度において処理したものについて記載している。

〔表3〕外国企業を当事会社を含む企業結合計画に係る届出の推移

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
日本企業と外国企業の統合計画に係る届出	7	7	8	12
外国企業同士の統合計画に係る届出	18	41	45	47
合計	25	48	53	59

## II 主要な企業結合事例の概要

- 企業結合審査の予見可能性及び透明性の向上を図る観点から、他の事業者の参考となると考えられる事例を中心に「主要な企業結合事例」として、審査結果を取りまとめ
- 「主要な企業結合事例」は、平成5年度以降、毎年、作成・公表しており、今回で24回目
- 平成5年度から平成28年度までにおいて、合計で261の企業結合事例を掲載

〔表4〕「平成28年度における主要な企業結合事例」の掲載事例一覧

No	事例の名称	1/2次審査	問題解消措置等	経済分析	海外情報交換	備考
1	ニッポンダイナウェーブパッケージングによるウェアーハウザーエヌアールカンパニーの液体用紙容器原紙の製造販売事業の譲受け	1	○			
2	ダウグループとデュポングループの統合	1	○			
3	出光興産(株)による昭和シェル石油(株)の株式取得及びJXホールディングス(株)による東燃ゼネラル石油(株)の株式取得	2	○	○		
4	サノフィグループ及びベーリンガー・インゲルハイムグループによる事業交換	1				
5	新日鐵住金(株)による日新製鋼(株)の株式取得	2	○	○		
6	エマソン・エレクトリック・カンパニー及びペンテア・ピーエルシーによるバルブ事業の統合	1			○	
7	ジャパントネルシステムズ(株)及び三菱重工業メカトロシステムズ(株)によるシールド掘進機事業の統合	1				
8	ラム・リサーチ・コーポレーションとケーエルエー・テンコール・コーポレーションの統合	1			○	取下げ
9	アボットラボラトリーズグループとセントジュードメディカルグループの合併	1	○		○	
10	キヤノン(株)による東芝メディカルシステムズ(株)の株式取得	1				届出義務違反につながるおそれから注意
11	ヤフー(株)による(株)イーブックイニシアティブジャパンの株式取得	1				eコマース
12	(株)メディアドゥによる(株)出版デジタル機構の株式取得	1				eコマース